

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成20年11月13日(2008.11.13)

【公表番号】特表2008-514721(P2008-514721A)

【公表日】平成20年5月8日(2008.5.8)

【年通号数】公開・登録公報2008-018

【出願番号】特願2007-534765(P2007-534765)

【国際特許分類】

A 6 1 K 45/00 (2006.01)

A 6 1 P 35/02 (2006.01)

A 6 1 K 31/675 (2006.01)

A 6 1 K 31/436 (2006.01)

A 6 1 K 31/7068 (2006.01)

A 6 1 K 31/704 (2006.01)

A 6 1 K 38/00 (2006.01)

A 6 1 P 43/00 (2006.01)

C 0 7 D 498/18 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 45/00

A 6 1 P 35/02

A 6 1 K 31/675

A 6 1 K 31/436

A 6 1 K 31/7068

A 6 1 K 31/704

A 6 1 K 37/02

A 6 1 P 43/00 1 1 1

C 0 7 D 498/18

【手続補正書】

【提出日】平成20年9月24日(2008.9.24)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

その治療を必要とする患者における急性骨髄性白血病（A M L）の治療に使用するための m T O R 阻害剤。

【請求項 2】

A M L が 1 種または 2 種以上の他の治療法に無反応性である、請求項 1 記載の m T O R 阻害剤。

【請求項 3】

A M L が再発したものである、請求項 1 記載の m T O R 阻害剤。

【請求項 4】

セロリムス（ラパマイシン）、A P 2 3 5 7 3、テムシロリムス（C C I 7 7 9）、エベロリムス（R A D 0 0 1）または A B T - 5 7 8 である、請求項 1、2 または 3 記載の m T O R 阻害剤。

【請求項 5】

0.1 ~ 50 mg の用量で週に 1 回または 2 回以上投与される、請求項 1 ~ 4 のいずれかに記載の m T O R 阻害剤。

【請求項 6】

週に 3 ~ 7 回投与される、請求項 1 ~ 5 のいずれかに記載の m T O R 阻害剤。

【請求項 7】

静脈内または経口で投与される、請求項 1 ~ 6 のいずれかに記載の m T O R 阻害剤。

【請求項 8】

腸溶性コーティングを有する固体剤形で経口投与される、請求項 1 ~ 5 のいずれかに記載の m T O R 阻害剤。

【請求項 9】

寛解導入療法中に投与される、請求項 1 ~ 8 のいずれかに記載の m T O R 阻害剤。

【請求項 10】

強化療法中に投与される、請求項 1 ~ 8 のいずれかに記載の m T O R 阻害剤。

【請求項 11】

寛解維持療法中に投与される、請求項 1 ~ 8 のいずれかに記載の m T O R 阻害剤。

【請求項 12】

他の療法と併用して投与される、請求項 1 ~ 11 のいずれかに記載の m T O R 阻害剤。

【請求項 13】

下記の 1 種または 2 種以上の療法と併用して投与される、請求項 12 記載の方法：代謝拮抗薬、アントラサイクリン薬、6 - チオグアニン、ゲムツズマブ・オゾガマイシン（マイロターゲット）、コロニー刺激因子、放射線療法、および幹細胞移植。

【請求項 14】

前記の薬が、シタラビン（ara - C）、ダウノルビシン、ドキソルビシン、イダルビシン、G - C S F および GM - C S F から選ばれる、請求項 13 記載の m T O R 阻害剤。